

# 2023年度 安全報告書



うみ・まち・さと——心でむすぶ



# Plan（計画）

## 1. 安全の基本的な方針と安全の目標

### （1）基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全綱領」を次のように掲げ、社長以下、社員全員に周知・徹底しています。

#### 《安全綱領》

- 1) 安全は、輸送業務の最大の使命である。
- 2) 安全の確保は、規程の遵守及び執務の厳正から始まり、不断の修練によって築き上げられる。
- 3) 確認の励行と連絡の徹底は、安全の確保に最も大切である。
- 4) 安全の確保のためには、職責を超えて一致協力しなければならない。
- 5) 疑わしいときは、手落ちなく考えて、最も安全と認められるみちを採らなければならない。

### （2）安全目標

輸送の安全の確保に関する基本方針に基づき、2022年度～2026年度（5年間）の鉄道輸送安全目標は、下表のとおりです。今後も社長以下、社員一丸となって事故防止に努め安全かつ安定した輸送の確保に取り組んでまいります。

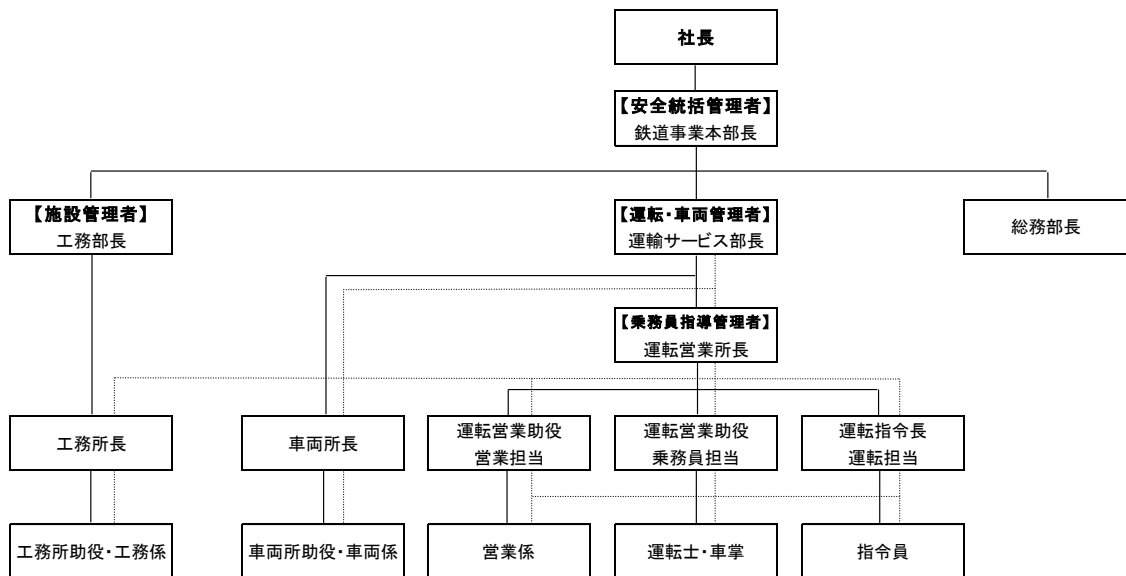
区分	項目	内容
鉄道輸送安全目標 〈定量的な目標〉	列車事故（衝突・脱線・火災）	5年間 発生させない
	人身障害事故	年間 2件以下に止める
	踏切障害事故	年間 3件以下に止める
	重大インシデント	5年間 発生させない

## 2. 安全管理体制

2006年3月の鉄道事業法の改正により、同年10月に「安全管理規程」を制定し、経営トップである社長を最高責任者とし、安全統括管理者・運転管理者・その他の責任者による安全管理体制を確立しています。

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責務を負う。
[安全統括管理者] 鉄道事業本部長	輸送の安全確保に関する業務を統括する。
[運転・車両管理者] 運輸サービス部長	安全統括管理者の指揮の下、運転及び車両に関する事項及び事故防止及び投資計画に関する事項を統括する。
[施設管理者] 工務部長	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項及び投資計画に関する事項を統括する。
総務部長	安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全確保に必要な要員に関する事項及び予算計画に関する事項を統括する。
[乗務員指導管理者] 運転営業所長	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。

体制図



2023年3月末現在

# Do (実行)

## 3. 安全性向上のための人材の教育・育成

### (1) 計画的な安全教育の実施

安全を支える人材の育成と社員個人のスキルアップを目的として、『係員の教育訓練規程』に基づき、年間6回のスケジュールにより、職種別の安全教育カリキュラムを継続して実施しています。2022年度は、新型コロナウイルスの感染症対策により、5回の実施となりましたが、机上教育や現場教習の充実とあわせ、習熟度を確保するための考査を実施して係員の資質の維持と向上に努めました。

また、安全教習の終了後には、受講者の全員に対し教習内容に関するアンケートを実施し、有効性についてのヒヤリングを行いました。アンケート結果を今後の安全教育に反映させ継続的な改善を図ってまいります。



【机上教育】



【現場教習】



【専門知識教習】



【専門知識教習】



## (2) 緊急時の対応に対する訓練

### ◎津波避難訓練

紀伊水道、四国南方沖を震源とする大規模地震の発生に伴う大津波警報の発令を想定して、2022年6月17日に津波発生時における情報収集・伝達に関する訓練、津波からの避難に関する訓練などを四国運輸局と弊社係員が連携し実施しました。



### ◎総合事故対策訓練

2022年11月22日『列車と自転車が接触』を想定した総合事故対策訓練を実施しました。全部署から総勢50名が参加、指令伝達訓練、避難誘導訓練、車両復旧訓練、施設復旧訓練などを実施し、緊急事態発生時の手順や体制を再確認いたしました。



## ◎地震発生時における訓練

2022年11月4日に運転指令所内に設置している緊急地震速報装置で「震度5弱を受信」を想定し、運転指令及び関係社員が無線通信による情報伝達訓練と情報提供訓練を実施いたしました。



【指令伝達】



【情報提供】

## (3) 救急救命講習会の実施

2022年10月3日から7日に「日本赤十字社香川県支部」から講師を招聘し、急病人等の救急救命活動を円滑に行うために運輸部門の社員（187名）に対して、自動体外式除細動器（AED）の使用方法を含めた心肺蘇生法（胸骨圧迫と人工呼吸）の講習会を実施いたしました。この講習会は、2003年から継続して取り組んでおり、繰り返し受講することにより事故や災害時の対応能力の維持・向上に努めています。



【AED装着】



【心肺蘇生】

## 4. 鉄道事故等の発生状況

### (1) 鉄道運転事故

2022年度は、踏切障害事故が3件発生しました。事故の原因は、直前横断等によるものです。

### (2) 自然災害

2022年度の自然災害は9月19日に台風14号接近の影響により、始発より終日、全線で運転を見合わせました。

### (3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

上記の自然災害2件を含め、17件の輸送障害が発生しました。設備や車両の不具合など当社の責任によるもの9件については、原因を分析し、再発防止対策を講じています。ご利用の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

### (4) インシデント

2022年度は、施設障害〔踏切無遮断・無警報〕に関するインシデントが1件発生しました。インシデント発生の概要及び再発防止対策は、以下のとおりです。

#### 【施設障害】 踏切の無遮断

- 発生日時 2022年4月14日（木） 10時55分
- 発生場所 琴平線 三条駅～伏石駅間  
三条第二踏切（瓦町起点 2K721m）
- 列車 第221列車 2両編成
- 原因 信号制御回路の緩放リレーが動作せず、動作開始が大幅に遅れ、遮断が完了できず無遮断・無警報となった。

#### ○対策（抜粋）

#### 【緊急対策】

- ・信号制御回路が作動しなくても HF 軌道回路の動作により踏切の遮断完了までの時間を確保出来るよう緩放リレー（ATUR）の撤去を行った。
- ・継電記録計を設置し、リレー動作の監視を行う。
- ・同事象が再発しても無遮断とならないよう、同踏切の動作開始を調整。
- ・原因を究明するため、新たな踏切制御回路を新設し、継電記録計にて調査中。

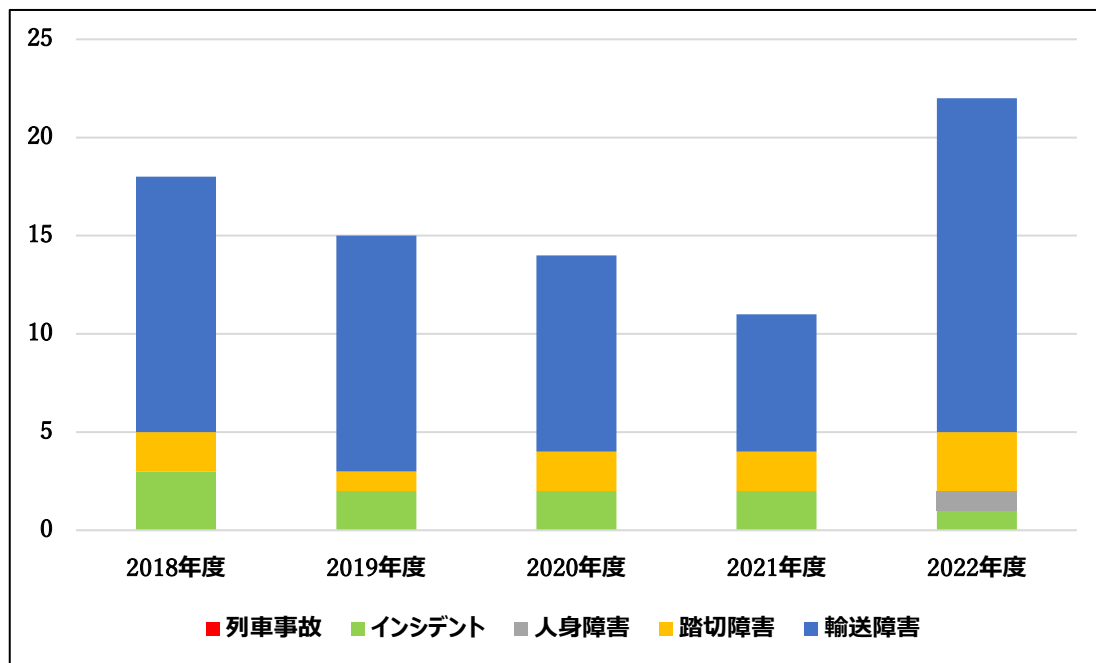


## (5) 行政指導等

2022年度、四国運輸局からの行政指導はありませんでした。

## (6) 事故等の発生件数の推移

過去5年間に於ける事故等の発生件数は以下のとおりです。



# Check (評価)

## 5. 安全に関する検証

### (1) 安全統括管理者による安全査察

2022年7月より安全統括管理者による月に1度の現場査察および現業の係員と意見交換会を実施し、現場が抱える問題と安全管理状況を確認し輸送の安全確保に努めました。



【現場査察】



【意見交換会】



## (2) 保安担当部署長会

部長・所長・助役でメンバー構成された「保安担当部署長会」を月次で開催し、ヒヤリ・ハット情報の分析や事故防止対策等の詳細を議論するとともに、本社と現業の間や現業部署間の意思疎通等「たて・よこ」の連携強化に努めています。

## (3) 事故情報のシステム化

2003年4月から運転事故・輸送障害等の事象を『セーフティBOX』によりシステム管理し、2023年3月末現在で10,144件の事象をデータベース化しています。このシステムを活用することにより、入力された情報は速やかに現業社員から経営トップまでの共有化と透明性を確保しています。2022年度は730件の事象を収集・分析し、再発防止対策については、スピードを持って実行するよう努めています。

# Action (改善)

## 6. 輸送の安全確保のための取組み

### (1) 安全推進委員会

安全対策を推進する会議として、社長・安全統括管理者から現業社員までの全職種が出席する「安全推進委員会」を2002年9月から月次で開催しています。2022年度は、計11回開催いたしました。この委員会では、現場社員との意見交換の時間を設定し、事故情報以外にも日頃の取組みの報告や現業部門で抱える課題等が直接社長に伝えられ、経営トップから現業社員まで情報の共有化を図っています。



【安全推進委員会】

## (2) 輸送施設の安全性向上

### ◎遮断機の更新

2022 年度に遮断機 24 台を更新しました。



【更新前】



【更新後】

### ◎踏切制御機器の更新

2022 年度に 13 台の踏切制御機器を更新しました。



【更新前】



【更新後】

### ◎ホーム転落防止塗装

長尾線の5駅（木太東口駅、水田駅、白山駅、井戸駅、長尾駅）および志度線の今橋駅のホームに転落防止塗装を施工しました。



【木太東口駅】



【水田駅】





【長尾駅】



【今橋駅】

### ◎駅施設の照明器具の更新

夜間の視認性の向上を図るため、照明の増設やLEDに更新しました。2022年度は、志度線3駅（琴電屋島駅、八栗駅、琴電志度駅）、長尾線4駅（林道駅、水田駅、高田駅、長尾駅）を施工しました。



工事前



工事後

【琴電志度駅】

### ◎踏切非常用押しボタンを新設

2022年8月3日に瓦町駅～花園駅間の「塩上第一踏切」に踏切非常用押しボタンを新設しました。





### (3) 防災情報提供システムの活用

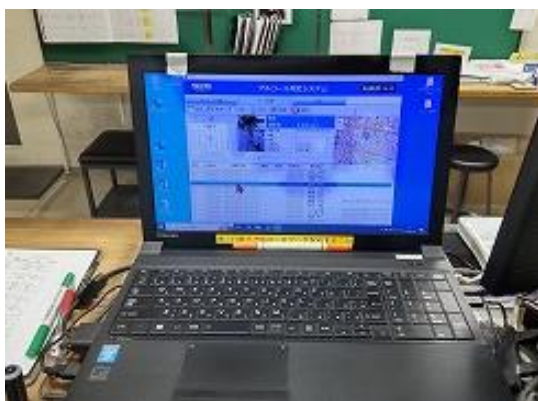
運転指令所内の防災情報提供システム専用のPCで気象庁が発表する防災情報や各種観測数値をリアルタイムで入手し、異常気象時の運転規制等に活用しています。このシステムはインターネットを利用して、Web及び電子メールにより、大雨・地震・津波等の注意報や警報情報の発表と同時に専用PCへメール配信されるものです。

### (4) SAS対策（睡眠時無呼吸症候群対策）

運転士には、定期的にSASの検査器具『パルスオキシメーター』を睡眠時に装着してスクリーニング検査を実施しています。SASの疑いが認められた場合には、精密検査を受診するほか、治療が必要と診断された場合には、医師による治療を義務付けしています。

### (5) 乗務前点呼の厳正

運転士・車掌には『出勤点呼マニュアル』に基づき、乗務前の点呼時にアルコールチェッカーを使用した呼気の測定を義務付けています。2021年2月からは、アルコール検知結果をデータ管理することで更なる出勤点呼の厳正化を図っています。また、点呼執行者との対面・電話点呼により、睡眠時間や心身の異常の有無をチェックし、睡眠不足や体調不良等に起因するヒューマンエラーの防止に努めています。



### (6) ヒヤリ・ハット等安全に関わる情報の収集強化および事故防止への活用 ◎ヒヤリ・ハット運動

鉄道事故や輸送障害等の未然防止を図るため、ヒヤリ・ハット情報の収集に積極的に取り組んでいます。ヒヤリ・ハットシート及びヒヤリ・ハットBOX（投函箱）を設置し、報告された情報は、担当部署が集約を行い、原因と対策を検討して写真やコメントを添えて全件全数を現場へフィードバックしています。

2022年度は、238件のヒヤリ・ハット報告があり、実施した対策は安全推進委員会で報告し情報の共有化を図っています。

## ◎安全に関する社員の声に対する表彰制度

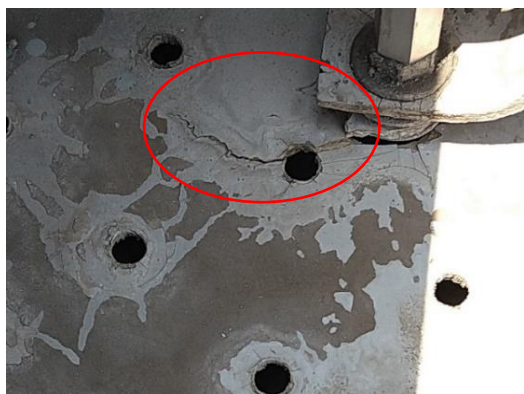
収集したヒヤリ・ハット報告の中から、会社全体の輸送の安全性向上に寄与した情報を報告した社員に対し、表彰制度を設けています。



## ◎ヒヤリ・ハット表彰事例

### 瓦町ビル 配水箱の取付部補修

点検中に配水箱にひびを発見し、水浸しになってしまう可能性があり、冷却塔の機能も低下してしまうおそれがあったため、配水箱が外れないよう上部から押さえ込んで固定した。



【対策前】



【対策後】

## (7) サービス介助士について

社員のサービス介助士の資格取得を推進し、お年寄りやお身体の不自由なお客様にも安心してご利用頂けるやさしい駅づくりを目標にハード・ソフト両面において、お客様視点に立ったサービスの提供に取り組んでいます。

2023年3月末現在、駅係員を含む70名がサービス介助士の資格を取得しています。

### サービス介助士



# ワンマン運行の開始について

2022年4月16日より志度線、2023年3月18日より長尾線でワンマン運行を開始しております。省令で列車防護に関する通達及び鉄道に関する技術上の基準等の要件が定められており、ワンマン化にあたって、省令で定められた基準を満たし、さらなる安全性向上を満たすため社内で管理者や現業社員とでプロジェクトチームを立ち上げ、安全性の向上と作業軽減を目的に新たな設備を導入しました。



## (1) 自動放送装置の導入

ワンマン運転においては車掌が不在のため、各駅の発車及び到着案内を運転士が行わなければなりません。自動放送装置は、運転台に設置されたタッチパネル設定器で行先を設定することで、次駅案内・到着案内を自動で放送します。



## (2) 閉扉案内装置の導入

各運転台の両端に設置したチャイムを操作すると、「ドアが閉まります」の音声が車内に流れます。ドアを閉める前に放送が流れることで、お客様のスムーズな乗降の呼びかけと戸ばさみ事故を防止します。





### (3) ホームミラーの設置

駅から発車する際、起動前に扉の状況や電車との接触の有無等を最終確認（出発監視）してから発車する必要があるため、各ホームの前方に確認用のホームミラーを設置しています。出発時にはホームミラーを確認し安全に努めています。

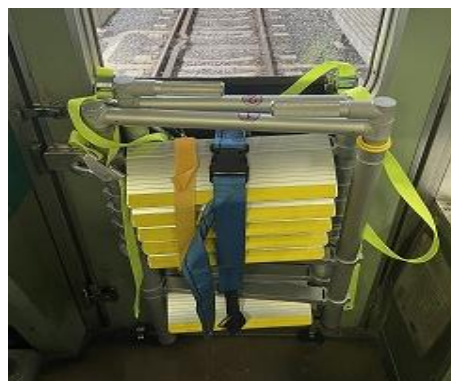


### (4) 避難梯子及びスロープ板のワンマン車両への設置

異常時の安全かつ迅速な避難などを目的に車両用避難梯子を志度線、長尾線全車両の運転台に設置にしております。また、車いす利用者の円滑な乗降を目的に全線、全車両の運転台にスロープ板を設置し旅客の対応を行っています。



【スロープ板】



【避難梯子】

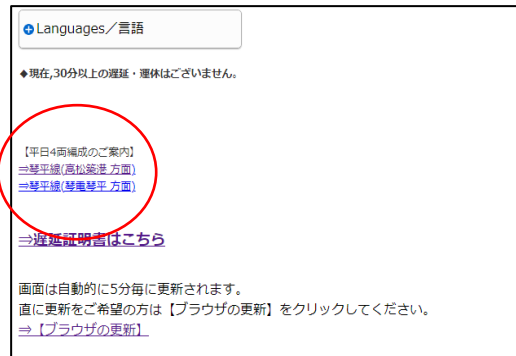
## お客様の利便性向上のために

### (1) お客様からのご意見

2002年8月からお客様より頂戴したご意見は『イルカBOX』でシステム管理し運用を開始以降、2023年3月末までに18,765件のご意見をデータベース化し、情報を全社員で共有しています。2022年度は1,103件のご意見が寄せられ、頂戴したご意見は、月次で開催される『サービス改善推進委員会』で討議し、具体的な改善策を講じるとともにホームページと駅に設置する掲示板において、原則として全数回答・公表するように努めています。

## (2) ホームページでの琴平線4両編成の確認

ことでは定期的に乗降調査を行い、ご利用状況に応じた車両運用を設定しております。2022年6月6日より、ことでのホームページ「電車 運行状況」で、琴平線の4両編成の運行時間をご確認いただけます。



## (3) 自動チャージ機の設置

2023年2月1日より林道駅に自動チャージ機を設置いたしました。



## (4) 自動体外式除細動器 (AED)

自動体外式除細動器 (AED) とは、心室細動などにより心臓が止まった方に電気ショックを与え、正常な心臓の動きを取り戻させる機器です。医療関係者以外でも安全に使用できる医療機器で瓦町駅及び高松築港駅に設置しております。



## (5) 乗車マナー向上の取り組みについて

お客様に駅構内や電車内で快適にお過ごしいただけるよう乗車マナー向上のご協力をお願いしています。その一環として、お客様に守っていただきたいマナーとルールを周知するため「さぬき弁マナー講座①～⑫」を弊社のホームページ及び駅構内や電車内に掲出しています。

### ポスター



## (6) 地域の皆様への啓発活動

新型コロナウイルスの対策として見合わせておりました鉄道施設を活用した校外学習『わくわく電車教室』を再開しました。2022年度は小学校・幼稚園・保育所・その他、計17校、延べ469名にご参加いただきました。この教室では、オリジナルの教材を用い、置石や線路内への立ち入りの危険性や乗車マナー向上を啓発することで、児童の安全意識の醸成にも取り組んでいます。

## (7) ヘルプマークの掲出について

ことでは、各駅への「ヘルプマーク」ポスターの掲示や優先席付近へのステッカー掲示等、援助や配慮を必要としているお客様が安心して鉄道をご利用いただけるよう取組を行っております。車内で「ヘルプマーク」を身に着けた方を見かけたら席をお譲りいただけますよう「ヘルプマーク」へのご理解とご協力をお願いしております。



## (8) 踏切事故防止キャンペーン

踏切事故撲滅に取り組むため、毎年11月1日～10日まで踏切事故防止キャンペーンを実施し、踏切道の安全啓発に取り組んでいます。車内ポスターや横断幕の掲出、SNSを活用して広報に取り組み、YouTubeにて公開した動画も数多く視聴を頂いております。



## (9) こども110番の駅

こどもを犯罪の被害から守るための全国的な地域運動として「こども110番の家」を鉄道駅へと広げる取組みで、2005年4月から有人駅で活動しています。「こども110番の駅」では目印となるステッカーを見て、こどもたちが駅に助けを求めてきた場合に保護し110番通報を行うなどの対応を行います。



## お客様へのお願い

### ◎車内でのお願い

車内で不審物を発見した場合や異常が発生した場合には、速やかにお近くの乗務員までお知らせください。また、各車両には、車内通報装置を設置しています。車内通報押ボタンを押すと運転室の表示灯が点灯するとともにブザーが鳴動し、乗務員に異常を知らせます。



### ◎踏切でのお願い

踏切では一旦停止し、警報機が鳴り始めれば絶対に踏切内には入らないようにしましょう。踏切内に閉じ込められた場合は、バーを押し切って、速やかに踏切の外に出てください。もしも人や車が踏切内で立ち往生した場合は、速やかに非常ボタンを押し、接近する電車に異常をお知らせください。

2022年度には、遮断桿が下りているにもかかわらず、車両や自転車、歩行者が無理に通行したため、85件の遮断桿折損が発生しました。その内42件に

については、そのまま立ち去られています。踏切道で異常が発生した場合には、そのまま立ち去らずに必ず非常連絡先に連絡していただき、踏切名やナンバリングをご一報ください。



## ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

高松琴平電気鉄道株式会社 運輸サービス部

電話 087-863-7300 月～金（祝祭日を除く）9:00～17:00

E-Mail [irucabox@kotoden.co.jp](mailto:irucabox@kotoden.co.jp)